

広報

ひがしゆり

1990・12

No.429



高橋宏幸の世界

9
町出身・絵本作家



一九二三年老方に生まれる。長年児童図書の編集にたずさわり、のち創作活動にはいる。文・絵・実技指導と幅広く活躍。「チロヌップのきつね」など数多くが海外でも出版。

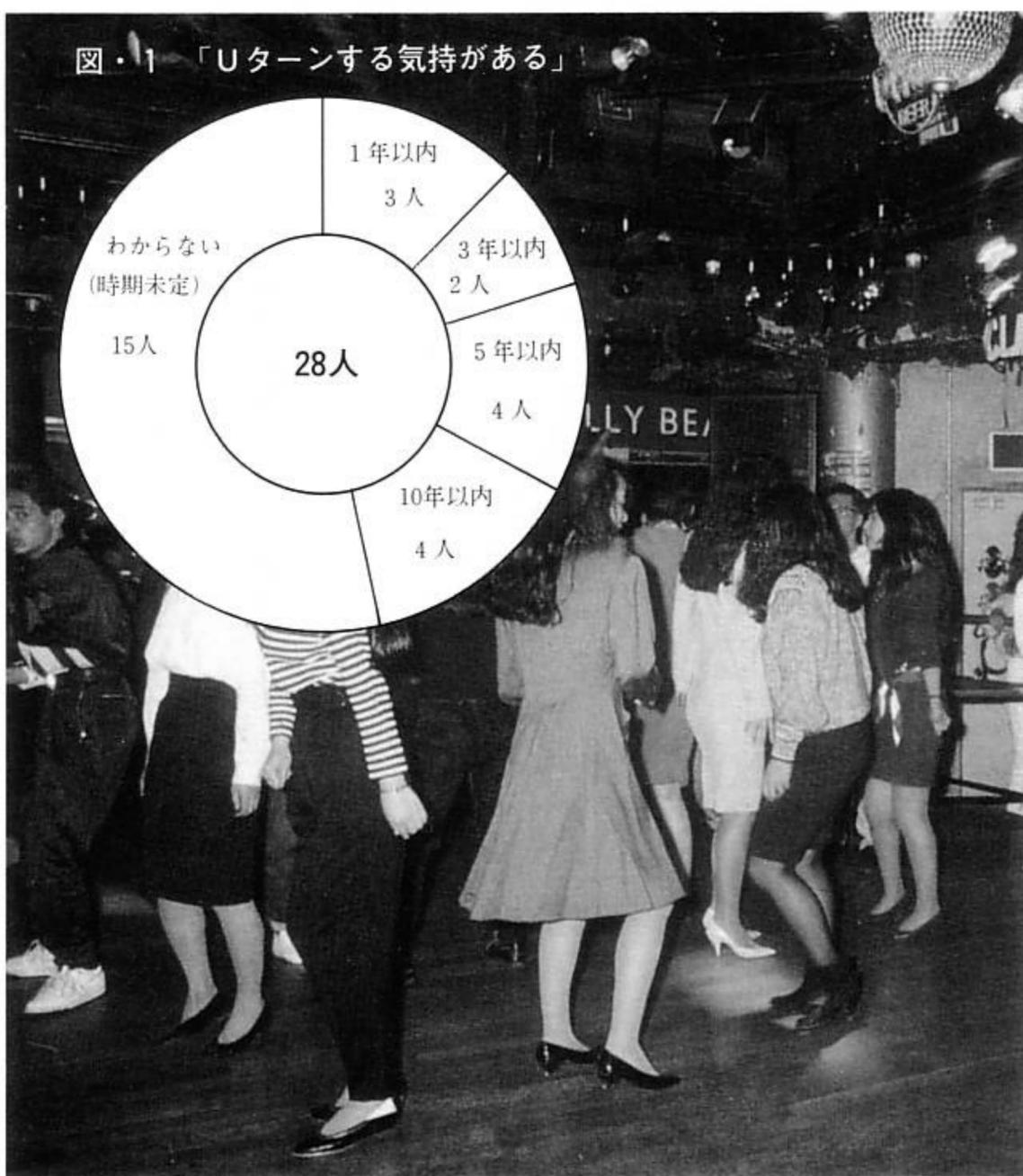
絵本「つるにようぼう」
ストーリーはご存じのとおり。有名なのは佐渡に残る伝説を、木下順二が脚色、山本安英が演じた「夕鶴」である。佐渡にはなお、ニュアンスのちがう鶴女房が五指を数えるという。私の場合、出版社の要望で鳥取県から採ったが、大山のふもとにだけでも四、五種あった。全国的にはどのくらいの鶴女房が潜在するだろうか。
主筋は変わらなくても、主役の鶴がかわいらしい少女だったり、妙齡な娘だったり。脇役は老夫婦や若者。それも農夫、木こり、猟師、大工とさまざま。鶴の変身にいたっては千差万別といったぐあい。この絵本では、裏切った男への怒りを爆発させるように、織りあがった布を雪のように散らして飛び去る。「むかしむかし、あるところに……ではじまる昔話には一定のパターンがある。時代、場所、人物が特定されないのが、伝説とちがう点である。だから地方地方によって、時々民衆の感情や願いが加味されて、部分的にちがうストーリーを生む。昔話はそんな宿命をもつ。民話は常に新しい息吹を与えられてこそ、永く語りつがれるものであろう。」(高橋記)

若者の定住対策を考える

新聞報道等でご存じの通り、国勢調査の結果（概数）本町では五年前の調査時より人口が大幅に減少しました。年齢別など細部にわたるデータはまだ公表されていませんが、昨今の本町の人口動態からしても、若年人口、とりわけ後継者の数は確実に減っているものと思われれます。

いま、町の大きな課題の一つとなっているのが若者の定住対策で、こうした人口減少の実態を踏まえ、町がこのほど「Uターン後継者アンケート調査」を行いました。

今号ではその結果をご紹介します、若者の定住対策について共に考えてみたいと思います。



都市的機能の整備を望む若者も多い

アンケートは、過去十年間に転出した長男、長女で年齢が十八歳～三十一歳までを対象に実施したもので、対象者総数は男七十二、女二十四の計九十六人。このうち約四二％にあたる三十七人が回答してくれました。

75%にUターン願望あり

回答者の年齢は十八～二十二歳が十八、二十三～二十七歳が十六、二十八～三十一歳が三人で、職業は公務員九、学生六、製造業、サービス業各五、建設業四人などでした。転出の時期は、高卒が最も多く二十八、中卒、大卒、町内就職後が各二人ずつでした。

転出の動機は、「進学のため」が最も多く十五人で、「求人条件がよい」十二、「地元企業が小規模」十一人のほか、「大都市での生活にあこがれて」「故郷を離れた生活がしたい」「先生等に進められて」十八人などとなっています。

この調査のポイントである、「Uターンする気持ちはあるか」の問いでは、七五％にあたる二十八人が「ある」と答えています。また、Uターンの条件として「魅力ある職場」十二、「高水準の賃金」八、「生活環境の整備」七人で、このほか「余暇活動施設の整備」「都市的機能の整備」などがあげられています。

これらの結果から、進学を除いて、転出の動機とUターンの条件には相関関係があり、職場の条件次第ではUターン者が増えるということにもなりそうです。

調査項目は職業、転出の動機、Uターンの願望・条件などで、ほかに町への意見・要望なども寄せていただきました。

以下、回答結果と町への要望等について概要をご紹介します。

アンケート回答者の



※数字は年齢

★交通網、アパート、町営住宅、デパートの整備を

(18~22女性・建設業)

★とにかく職場がなくてUターンできない

(23~27男性・公務員)

★県内一のもの(サーキットコース、町営50mプール、アスレチックなど)の整備を

(18~22男性・学生)

★数年でUターンしたいが町全体が閉鎖的で今のままでは考えてしまう

(23~27女性・サービス業)

★背伸びせず特徴のある町づくりを進め、いつまでも変わらない町であってほしい

(18~22男性・建設業)

★自然があるのは大変いいが、東由利でなければいけないような工夫をしたらどうか

(23~27女性・公務員)

★ペットタウンの構想はどうだろうか

(28~31男性・サービス業)

★マーケットなど大規模店の設置は期待できないか

(23~27女性・製造業)

★時代と共に住み良い町になっていくと信じています。いつかきっとUターンするときはお嬢さんがゴロゴロしてたらいいな

(18~22女性・サービス業)

●魅力ある職場 12人

●高水準賃金 8人

●生活環境整備 7人

●余暇活動施設整備 6人

●都市的機能整備 6人

●自然環境対策 4人

●その他(家業を継がない・嫁婿対策など) 6人

図・2

Uターンの条件

若者定住の課題ぞくぞくと...

このアンケートとあわせ、町内の三十〜四十五歳の方々の中から三百八十人余りを抽出し、後継者に関するアンケート調査を行いました。回答者は全体の約四四％にあたる百六十六人で、年齢は三十〜三十四歳が十人、三十五〜四十歳が九十二人、四十一〜四十五歳が六十四人でした。このうち農家が四〇％を占めています。

転出した若者たちは、故郷・東由利町にどんな要望を持ってきているのでしょうか。アンケートの中に、二十八〜三十一歳の公務員(男性)は、「帰省するたびに町の様子が新しくなり驚いています。しかし、産業面で他にアピールするものが見られないのが残念です。両親を残しているので、面倒をみるためにも

どりたいと思っています」と。また、二十三〜二十七歳の建設業(女性)は、「ただ単に大量に働ける場所ということで企業を誘致するのではなく、若者が好みそうな職種(女性であれば事務系・企画制作・サービス業など)を誘致してほしい」と書いています。このほか多くの意見・要望が寄せられ、一部を別掲しましたのでご覧ください。

者に魅力ある職場が不足している②町内企業の労働条件の改善が必要である③ショッピングなど都市的機能が不十分である⑤農業所得の向上など産業振興対策が不十分である―でした。ここでも魅力ある職場や労働条件の問題など、若者がUターンの条件として掲げていることと同じ問題があげられています。次に「後継者を定住させるために家庭で悩んでいること」を例題から選んでいただいたところ、①後継者本人の希望する職種が近隣になく定住させられない②経営等の実態から後継者を家に拘束できない③農業の経営規模を拡大したいが思うようにいかない―などが悩みとしてあげられました。

ご意見・ご要望を

町内に就職させたいと思う親は10%

まず、「若者定住対策の課題」を例題から選んでいただいたところベスト4は、多い順に①若

また、後継者が就学中の方に卒業後の進路について質問したところ、無回答を除き、「子供の希望どおりにさせる」が最も多く五八％、「通勤可能な範囲で近隣周辺に就職させる」が二

三％で、「町内に就職させる」はわずか一〇％でした。この結果から、現在の社会情勢が子供が積極的に子供を引き留める意欲に欠ける点などがうかがわれ、今後の若者の定住対策の視点となりそうです。

☎ 69・2110番

人出は3,700人

第4回町産業文化祭が11月3日から二日間健康増進センターなどで開かれ、二日目に雨に見舞われたものの延べ3千7百人が入場しました。今年も二十数部門を展示、次の方々に町長賞、農協長賞などが贈られました。

入賞者一覧 (敬称略)

一般展示物・町長賞

▶畑作物・小笠原豊和(蔵新田)▶園芸・佐々木精人(大琴)▶果物・小松一雄(蔵)▶農産加工・佐々木タキエ(新町)▶工芸品・小野羊治(須郷田)▶米料理・島婦人部▶葉たばこ・渡辺民蔵(石高)

同・農協長賞

▶畑作物・遠藤熊雄(新処)・小笠原豊和(蔵新田)・佐藤ノブ子(高下屋)・小松茂靖(新町)▶花き・佐々木精人(大琴)▶葉たばこ・渡辺民蔵(石高)・佐々木信夫(田代)・大庭ユキ子(舟木)▶果物・畠山茂子(館合新田)・小松一男(蔵)▶つけもの・佐々木タキエ(新町)▶くんせい・小松憲司(下小路)▶びん詰め・畠山ヨシ(2種・館合新田)・吉川葉子(時雨山)・嶽石勝男(新沢)▶果実酒・佐藤チヨ(智者鶴)▶工芸品・小野羊治(須郷田)▶団体賞・館合新田

発明工夫展

町長賞▶八塩小学校

県知事賞▶小松聖嗣(八塩3年)

発明協会秋田県支部長賞▶嶽石文吾(八塩4年)梅津美穂(大琴6年)

以下「金賞」受賞者

阿部泉(高瀬4年)小松俊也(八塩2年)鈴木美沙(大琴5年)工藤和弥(高瀬4年)長谷山哲也(八塩3年)鈴木弘和(大琴2年)小笠原隼人(高瀬6年)高橋一美(八塩4年)小笠原美喜(大琴6年)嶽石元気(八塩2年)古関彩子(八塩2年)

テニス大会(35人参加)

優勝▶畠山章(新町)小松正義(黒沢)

ターゲットバードゴルフ大会(13人参加)

優勝▶畠山基保(袖山)小野義雄(中通)

▶町民の力作がずらりと並べられたメイン会場の健康増進センター



◀ジャンボかぼちゃなど普段お目にかかれない品々が並んだ「珍品コーナー」



▶豊作を反映する立派な農産物の数々



▲今年はテニス、ターゲットゴルフ、ゲートボール大会などのスポーツ行事も行われ、好評を博す(写真はテニス大会)

▼農業近代化ゼミナール恒例のもちまき



◀ステージ発表ではピアノ、器楽、歌、踊りなどに総勢200人余りが出演(写真はピアノ発表会)



第4回東由利町産業文化祭
力作をずらりと展示、

出来秋を喜ぶ

野菜や栗に人気集中

3回目迎えた町特産物フェア

町特産物の販売促進と町のPRのため、十一月十三日から十八日までの六日間、東京・池袋の三越池袋店を会場に「東由利町特産物フェア」を開催しました。

昭和六十三年に初めて開催し今年で三回目を迎えた同フェアは、これまでの二月、三月の開催に替え、できるだけ新鮮な味を届けようと十一月に開催しました。会場では三回目の開催とあって顔なじみのお客も多く、あきたこまち、フランス鴨、つけもの、自然食品、りんごなどの、古里のかおり、本物の味を買い求めていました。

特に、今回はじめて出品した白菜、キャベツ、大根などの野

菜と栗は、そのおいしさと値段の安さも手伝って飛ぶように売れ、追加発送が間に合わないなど、派遣販売員はうれしい悲鳴をあげていました。



三越池袋店で開催した町特産物フェア

特産品発送で礼状など相次ぐ

ふるさと出合いの森「特別町民」

「ふるさと出合いの森」事業から一年が経過し、その名も久しくなっているとありますが、同事業加入者である「特別町民」八十五人に先ごろ、「特典」としての町特産品を送ったところ

「ふるさと出合いの森」事業

「ふるさと出合いの森」事業

「あきたこまち」の新米、栗、

なめこの三品で、「新米がとてもおいしかった」「なめこは正月用にとっておきます」などの声が多く寄せられています。このほか礼状の内容には近況を知らせたものも多く、特別町

民と町とのふれ合いの深まりが感じられるところです。特別町

民には現在、町広報紙の送付のほか各種イベントの案内、町施設利用の無料提供などの特典を

受けていただいています。

民生・児童委員二十五年度の工藤さんが全国表彰

山崎の工藤武雄さんが民生・児童委員功労者としてこのほど全国社会福祉協議会会長から表彰されました。工藤さんは昭和四十年から現在まで二十五年の長い期間にわたり同委員を努め、町社会福祉の増進に大きく貢献されています。工藤さんは十一月九日東京



工藤 武雄さん

年金、統計功労などで四人が知事表彰を受賞

優良国民年金委員として町年金委員の大日向二郎さん(宮の前)、統計功労者として本町職員の佐藤文十郎さん(黒淵)と、町統計調査員の遠藤熊太郎さん(新処)、遠藤

喜美子さん(同)がこのほど県知事から表彰されました。

また通商産業省生産動態統計調査の功労事業所として、(株)一ホク秋田工場(新町)が通商産業大臣表彰を受賞されました。

パトカーの感強まる

町交通指導車を更新

町の交通指導車を更新しました。昭和五十四年から使用してきた交通指導車が古くなり、買い替えたもので、車種はトヨタチェイサーアバンテ二〇〇〇E F I (オートマチック車)です。外観はパトカー仕様で、警光灯もこれまでの回転式から散光式となり、パトカーの



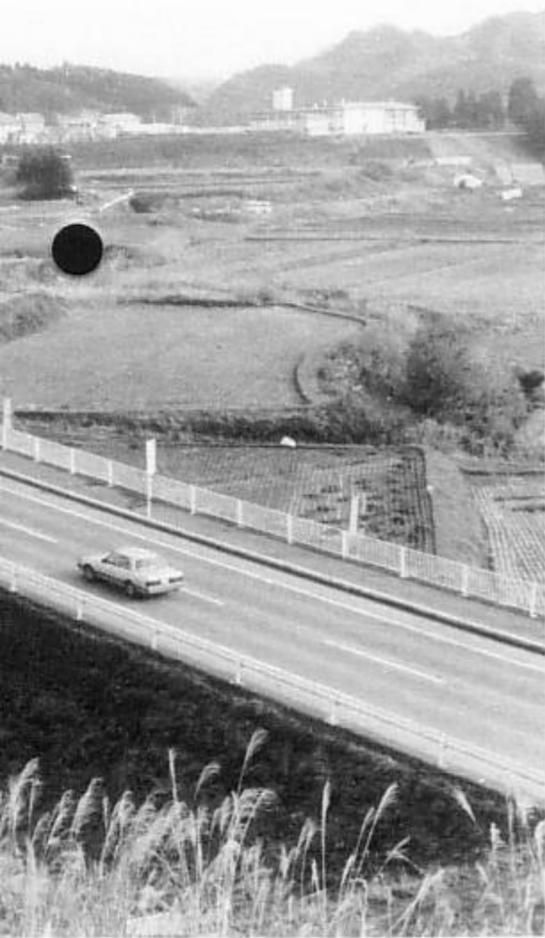
更新した町の交通指導車

感がより強くなりました。町には六人の交通指導隊員がおり、同指導車は同隊員らを中心に交通事故防止などに活用されます。

道路整備

平成2年道路整備状況

毎年この時期にお知らせしている「すすむ道路整備」。今年も由利土木事務所、町の建設課から取材してみました。



鉄道にかわる町の大動脈、国道一〇七号線は、整備計画の延長が宿り本荘市山内までの六千二百二十メートルで、東由利町側が四千八百六十五メートル、本荘市側が千二百五十五メートルです。

今年は大琴〜舟木まで千五百五十五メートルのバイパスが完成し八月に開通式を行ったのははじめ、舟木地内の約八百メートルが間もなく完成します。

国道

大琴〜舟木間約2キロが完成 トンネルが年内に本格着工

県道

今年は大吹川を整備 各路線とも早期整備を陳情中

本町には県道が六路線あり、矢島、羽後、雄物川、大森、大吹川間の約四百二十メートルで、現道の一部拡幅改良、舗装が行われています。

このほかの県道では、神岡坂部横渡線で、岩館地区の調査が来年度以降に予定されているほか、他の路線も早期整備の実現に向けて国・県へ陳情を行っています。

町道等

坪倉線の改良工事が完成 今年は三十九カ所を整備

町道や農道、林道の整備は今年、別掲の「道路整備状況」に示したように三十九カ所で行われ、十一月末までに二十一カ所が完成しました。このほか本



町道・農道

(11月末現在)

地区(路線名)	施工カ所	距離(m)	内容	進捗状況
明通線	地下の沢	159	改良	30%
深山線(二期)	深山	826	舗装	100
笹山線	笹山	—	測量設計、用地買収等	30
下小屋線	下小屋	355	改良、舗装	50
住吉線	住吉	375	改良、舗装	50
赤倉線	赤倉	—	橋梁ボーリング調査ほか	100
須郷田跡見坂線	館合新田	—	舗装設計、用地買収等	0
坪倉線	坪倉	改良539m、舗装1,958m		100
台山線	台山	150	歩道設置	100
台山2号線	〃	329	改良、舗装	70
中学校線	〃	188	舗装	100
八日町線	八日町	190	改良	100
山本線	山崎	100	改良、舗装	100
上野線	上野	—	改良、用地買収等	60
後町線	下通	331	舗装	100
鳥居坂線	寺田	203	〃	100
浮蓋線	祝沢	140	〃	100
板戸茂沢線	茂沢	—	地形測量	0
上里4号線	上里	—	改良	0
島宮線	宮の前	120	歩道設置	50
鞍骨線	鞍骨	509	改良	100
〃(二期)	〃	150	改良	80
稲子沢線	稲子沢	132	改良	100
指平線	指平	133	改良、舗装	100
〃	〃	250	改良	50
八沢木線	高村	1,393	舗装	100
高村線	〃	180	改良	100
大琴線	大琴	400	側溝整備	0
日渡線	日渡	128	改良	0
大谷地線	大台	469	改良	100
若林線	若林	580	改良	100
鳥台線	鳥台	500	改良・橋梁1橋	90
杉森線	杉森	改良617m、舗装200m		90

林道

地区(路線名)	施工カ所	距離(m)	内容	進捗状況
矢走線	白ヶ沢	780	舗装	90%
〃	〃	420	改良	100
白ヶ沢線	〃	105	舗装	100
沢中線	沢中	1,000	防塵舗装	100
八塩1号線	八塩	500	測量調査、開設	30
土場沢線	下吹	—	用地買収、補償	90



県道仁賀保矢島館合線は須郷〜大吹川間で約500メートルを改良・舗装

すすむ

車を唯一の交通手段とする本町にとって、道路整備は
住み良い町づくりの最大の条件です。

今年はこの道路がどれだけ整備されたのでしょうか。



8月に開通した国道107号線・大琴バイパス

格的な降雪前の完成を目指し、
て、工事を急いでいます。
特に今年、昭和六十一年に
着工した坪倉線（館合新田→舟
打場）の改良工事が終わり、千
五十五坪の舗装工事を残すだけ
となりました。舗装工事は来年

度に行い、六年間にわたる同線
の整備にピリオドを打ちます。
また、八沢木線（高村線）は
今年約千四百坪を舗装、来年度
に残り約千五百坪を舗装し高村
→小倉間の整備を終えます。な
お、同線は引き続き大森町に向



改良工事を終え1,055坪の舗装工事を残すだけとなった坪倉線

かい改良工事が行われます。
このほか、集落道では下小屋
線、住吉線、山本線、中学校線、後
町線、鳥居坂線、浮蓋線、指平線
などが改良・舗装されました。

須郷田跡見坂線 いよいよ着工！

昭和六十二年から用地買収な
どを進めていた町道須郷田跡見
坂線は、いよいよ今冬から本格
的な工事に入ります。
今年度は約五百五十坪を改良
する予定で、工事中は町民の皆
さんにご不便をおかけすること
かと存じますが、ご協力をお願
いいたします。

八沢木線（高村線）は高村→小
倉間で約千四百坪を舗装

町長随想

去る九月十六日に、山村農業の
活路を町民みんなで考えよう……と
の発想から「山村に生きる農業シ
ンポジウム」を本町で開催した。
町民の参加が多く、その関心の
深さがうかがわれ、この種のシン
ポジウムとしては大成功と、関係
者から喜ばれた。また、町民参加
者からも好評をいただいたことを
喜んでいる。

いる私は、このシンポジウムから
町民が何を学びとったかに大きな
期待を寄せながら、このテーマに
向けた町民努力の芽が育ってくれ
ることを、大いに期待している。
「山村東由利」の生きる道に期
待する町民の真剣な心意気が、シ
ンポジウムの会場に溢れていたよ
うに思われる。その雰囲気から、
このシンポジウムが多くの町民の
心をとらえたようであり、うれし
く思った。

「山村に生きる農業」を考える

農村をめぐる情勢は、国際経済
の枠組みの中でかなり厳しい現実
である。このような情勢の中で、
山村農業をどう切り拓き、どう生
き抜くか……という農山村共通
の課題を抱えながら、この待った
なしのぎりぎりの実情の中で、町
民が何かに頼り、何かにしがみつ
こうという真剣な姿を、このシン
ポジウムで浮き彫りにしたと言え
るようである。

望した場合、地勢的立地条件から
しても基幹産業は将来ともやはり
農業であることに違いない。
あと十年で二十一世紀の新時代
を迎える。今年、二十一世紀に
向けたわが町の農業振興の道筋を
たてよう……。この時代の世代
に、東由利町の農業を引き継いで
もらうためにも、しっかりした道
しるべと道筋を立てておかねばな
らない。そのような考え方からい
ま、「東由利町農業振興大綱」の

策定を急ぎ……その策定作業を実
施中である。
この事業の中味のひとつとして実
施したのが「山村に生きる農業シ
ンポジウム」であり、真剣な中味
の濃いフォーラムとなった。
「町の特質を生かした行政」、
そして「失敗を恐れずに取り組む
仕掛け人」、「足もとを徹底的に
見直しながら何かにこだわり続け
て努力する人」、「その人づくり
のために、行政自身も体を張って
やるような組織づくり」が大事で
あることを痛感させられた。
(畠山亮二郎)

この一年

どんな年でしたか？。
 施設が整備された年でした。
 この一年を振り返ってみたいと思います。



5大ニュース (順不同)

- ① 東由利勤労者野球場オープン
- ② 国道107号大琴バイパス開通
- ③ 山村に生きる農業シンポジウム開催
- ④ 「玉米会館」オープン
- ⑤ 斎場「やすらぎ苑」完成



▲ 8月1日・国道107号大琴バイパス開通 (写真=開通式・8/8)



・「こうふくの橋」渡り初め

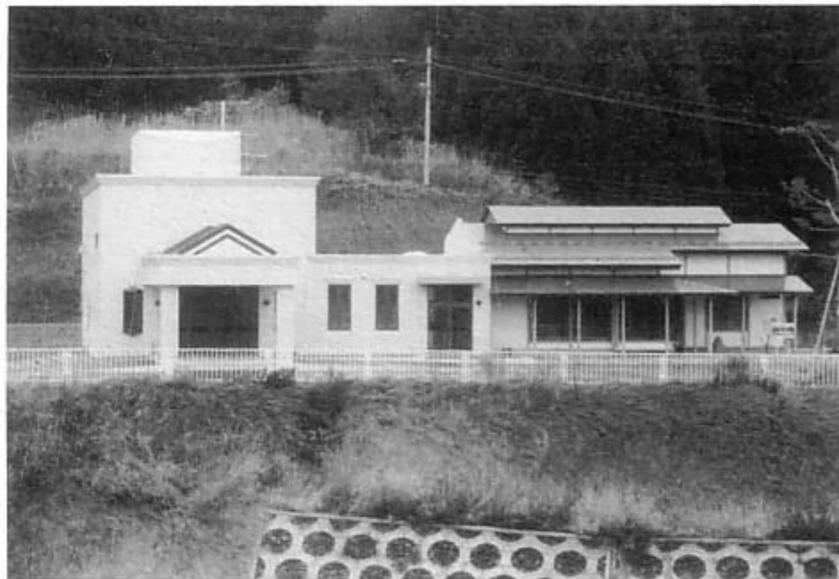
- | | | | | |
|---|---|---|--|---|
| <p>5</p> <p>2日・「こうふくの橋」渡り初め</p> <p>3～13日・黄桜まつり……</p> <p>藤まき子さん</p> | <p>4</p> <p>22日・大火防止訓練……蔵地区</p> <p>25日・県議会総務企画委員会</p> <p>◎役場の土曜閉庁(第二、第四)開始</p> | <p>3</p> <p>◎男子型誘致企業「大東精機株」の進出決まる……</p> <p>平成三年一月操業予定</p> <p>◎町農業近代化ゼミナールが農林水産大臣賞を受賞</p> | <p>2</p> <p>◎秋田県農業近代化ゼミナール参加</p> <p>28日・畜産講演会……二百余人参加</p> <p>◎秋田県農業近代化ゼミナール参加</p> <p>25日・東京で町づくり懇話会開催</p> <p>18日・衆議院総選挙……投票率七九・四三</p> <p>7日・婦人シンポジウム……百五十人参加</p> <p>2～3日・大平雪まつり……三千五百人入場</p> <p>◎県内初十七産目の子牛出産……藤原陽太郎さんの「さかえ9の2号」</p> <p>◎特産物フェア……二月二十日～二十五日三越池袋店・三月六～十一日三越銀座店</p> | <p>1</p> <p>4日・住民票などの発行を電算化</p> <p>6日・消防出初式……六十人に表彰状、感謝状を贈呈</p> <p>◎法内の八本スギが「新・日本名木百選」(スギの部十選)に選ばれる</p> <p>◎金子拓雄さんが本町三人目の秋田県経営農業士に</p> |
|---|---|---|--|---|

東由利町

今年も残すところあと1ヵ月。平成2年は皆さんにとつ
町はというと、待望の野球場、玉米会館、やすらぎ苑と
ここでは、今年的主要出来事を広報紙の中から拾い出し
今年一年を振り返り、明るい新年をお迎えください。



▲8月30日・玉米会館オープン



▲7月17日・齋場「やすらぎ苑」完成



▲9月16日・山村に生きる農業シンポジウム開催



▲5月2

6

13日・東由利黒淵中継局開
局 八十二人出席
20〜21日・敬老会……三百
30日・東由利勤労者野球場
オープン

7

3日・畜産共進会……九十
三頭出品 合優勝
17日・齋場「やすらぎ苑」
完成 分団が総合優勝
21日・消防訓練大会……二
◎東由利農業振興大綱の策
定作業開始

8

1日・大琴バイパス開通……
八日に開通式実施 26日・町民運動会……三十
八自治会参加
15日・成人式……七十六人
対象・五十六人出席 26日・全日本吹奏楽コンク
15日・ふるさと交流……六
中が「金賞」を受賞
十人参加 30日・「玉米会館」オープン

9

16日・山村に生きる農業シ
ンポジウム……三百余人
参加 ◎「青少年交流施設」着工
27日・交通安全町民大会
◎町建設技能組合が創立三
十周年を迎える（九月十
五日に記念式）



10

7日・郡市小学校卓球大会
で大琴小が二年連続優勝 要二さん寄贈
◎「芍薬園」設置……佐藤 ◎国勢調査実施
◎交通指導車更新

11

3日・町功労者表彰式……
長谷山喜一郎氏受賞 13・特産物フェア……18
日・三越池袋店
3〜4日・産業文化祭…… ◎東中大規模改造工事完成
三千七百人入場 (パソコン20セット導入)

カメラトピックス

町のわだい

仙台を「シティーウォッチング」

「魅力ある町に学ぶ若者のアクションとは」をテーマに、ピットツアー「オムニバス90」が十一月二十三日から二十五日までの二泊三日の日程で行われました。

一行は町内の青年男女二十七人。初日、宮城県中新田町のバツハホールなどを見学し、夕食後、現地青年と情報交換・交流パーティーを夜遅くまで行いました。二日目は午前中に見えるきたけ、果樹などの栽培施設や若き経営者を訪問。午後はグループに別れての「シティーウォッチング」で仙台市内を探索。夜は展望レストランでテーブルマ



宮城県中新田町で、えのきだけの栽培施設を見学する一行

町公民館がこのほど、反復横とび、垂直とび、握力、ジグザグドリブル、急歩の五項目にわたる体力テストを行いました。参加者は農業者や会社員など青壮年男女五十人で、結果について町公民館の派遣スポーツ主事・畑中剛さんは「全国平均に比べ敏捷性や瞬発力、筋力が優れている反面、巧み性や持久力に劣る。車社会の弊害か」と分析しているほか、「健康診断を受けるのと同じような考えで、体力テスト等を通して自分の体(体力・健康)について知ってほしい」と話しています。

自分の体力にもっと関心を

めざせ秋田県一！東中が中央地区大会征す

中学校秋季新人バスケットボール中央地区大会で東由利中学校がみごと初優勝を成し遂げました。

同大会は十一月三、四日、秋田市立体育館で開かれ、秋田市・河辺、男鹿・南秋、本荘・由利の各地区から十校が出場。初戦東由利中は秋田市立城南中と対戦し四十七対二十六で圧勝、準決勝は同市立下北手中を四十五対三十三でくだし決勝へとコマを進めました。決勝は強豪秋田市立城東中と対戦、準決勝と同スコアで競り勝ち、県大会への出場権を獲得したものです。県大会は十二月十五、十六日秋田市立体育館、県立体育館で開かれることになっており、健闘が期待されます。



優勝の報告に校長、部長と役場を訪れた東中バスケット部員

下郷分校が初優勝 高校バドミントン中央大会

県高等学校体育連盟中央支部新人大会(十月二十、二十一日・秋田工業高校)のバドミントン女子二部ダブルスで、本荘高校下郷分校がみごと初優勝を飾りました。

初優勝を成し遂げたのは一年生の遠藤淳子さんと小松美香さんで、初戦・秋田経法大附属高校、第二戦・矢島高校笹子分校を二対〇で、準決勝・秋田高校、決勝・新屋高校をいずれも二対一でくだし、みごと初優勝の栄冠を手に入れました。県大会は十一月一日から秋田市の県立体育館で行われ二人の活躍が期待されます。



遠藤淳子さん(左)と小松美香さん(右)

里理さん(八塩小)の ポスターに最優秀賞

第四回小学校防火ポスター展が十一月三日から十日間ファミリーデパート本荘店で開かれ、審査の結果小学校五年生の部で本町八塩小学校の小松里理さん



瞬発力を調べる垂直とびは平均して好結果が出た

東中の大規模改造工事が完成

外壁張り替えなど1億7千万で



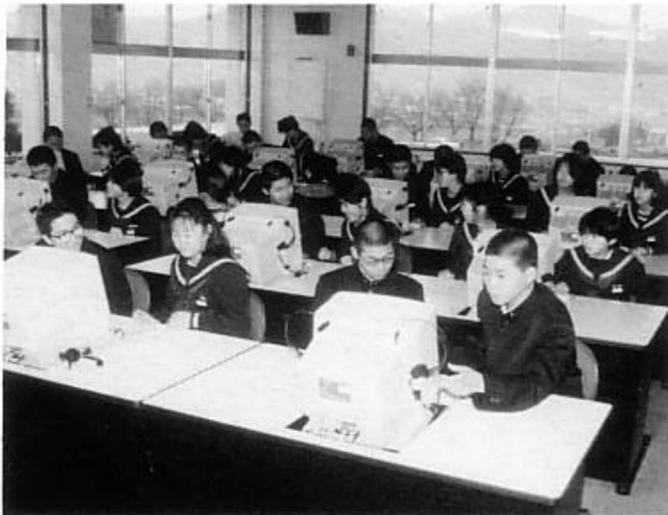
改造工事が完成し真新しくなった東由利中学校校舎

パソコンを二十セット導入

また同事業で、パーソナルコンピュータ二十セットが同校に導入されました。これは、新しい教育課程に「情

報教育」が取り入れられたことに伴い、今後の情報化社会に対応できる子どもの育成を目指すためのもので、機種はNEC・

PC9801-EX2です。同校では「指導体制の充実・強化に努め教材の有効活用」に努めていきたい」としています。



パソコンを使い授業を行う生徒

昨年から二カ年にわたり行われていた東由利中学校の大規模改造工事がこのほど完成し、校舎と体育館、寄宿舎が見違えるほど真新しくなりました。同校は昭和四十四年下郷・玉米両中学校の統合により開校、同四十六年に新校舎と寄宿舎、四十七年に体育館が完成しました。以来二十年近い歳月の経過

と共に建物の老朽化が著しく、昨年からの全面的に改造工事を進めていたものです。工事費は、外壁の張り替え、屋根の張り替え、内部補修などを主体に昨年約六千四百万円、今年約一億五百万円で、このうち約三分の一は国の補助金でまかなわれます。

渡航先のオーストラリアで現地女性と記念写真を撮る佐藤さん(左)



十七カ国に渡航し無事帰国

海上自衛隊の佐藤敏夫さん

昭和六十三年、海上自衛隊に入隊した下小路・佐藤亮二さんの次男敏夫さん(二十歳)が、今年五月八日から十月十二日まで、同隊の練習艦「かとり」に乗艦、世界十七カ国歴訪の遠洋航海に出掛け、このほど無事帰国しました。

六カ月間の長旅を終え、数多くの経験を積んできた佐藤さんには見違えるほど立派になり、今後のますますの活躍がおいに期待されます。

真剣な表情で講演を聞く婦人たち



東北電力が講演会をサービス

東北電力(株)グループが秋のサービスマン旬間の一環として、町内の婦人を対象にこのほど老方館で講演会を開きました。講師は歯科医の小松義典氏(館合)で、「歯科医のたわごと」と題し歯の大切さをユーモアを交え講演。婦人たちは真剣な表情で耳を傾けていました。講演会を企画した東北電力(株)東由利出張所では「今後も開催しますので気軽にどうぞ」と話しています。



最優秀賞を受賞した小松里理さんのポスター

が最優秀賞を受賞、出品率の高かった八塩小学校が学校賞に輝きました。同展は少年少女の防火意識高揚を図るために開かれたもので、会場には八百七十点の力作が展示され、多くの買物客に好評を博しました。

欧州視察 研修レポート

高福祉社会の実態を学ぶ

東由利町役場総務課 小野長清

十月十五日から二十六日まで二日間、秋田県市町村職員欧州視察団（県市町村振興協会主催）の一人としてヨーロッパ四カ国（オランダ、スウェーデン、イギリス、ドイツ）を訪問する機会を与えていただいた。以下はその研修レポートである。

高福祉を支える高負担

今回の訪欧視察に際し私が持っていた個人テーマは「高福祉社会の実態」であり、福祉先進国として知られるスウェーデンの福祉政策について報告することにする。

スウェーデンでは、国が健康保険・高齢者年金・出産・育児手当金の支給、県が医療全般、市町村が老人福祉・児童福祉・教育を担当している。六十五歳になるとだれでも月八〜十五万円の年金が受けられ、さらに退職時給与の七五割に当たる付加年金が加わる。育児手当は二子までは一人当たり月額一万二千円で、三子以上は増額される。また、医療費の九〇％は健康保険から還付される。

こうした高福祉政策の一方、財源となる税負担も大きく、平均的に所得から半分近くが税金として

引かれるほか、日本の消費税に当たる間接税も一〇％を超すのが実態である。このため、高い税負担を嫌い国外へ流出する国民も、特に若い人に見られるという。

労働意欲低下が社会問題に

視察先のスウェーデン・ストックホルムでは人口の高齢化が著しく、高齢者比率は現在約二二％。本町（一八・七％）よりかなり高く五人に一人強が六十五歳以上という計算だ。このため福祉関係予算は市予算の五〇％を超し、膨ら



スウェーデンで視察した老人ホームの入居者の部屋にて

む福祉予算を抑制するため年金受給年齢（現在六十五歳）の引き上げが検討されているとも聞いた。高福祉が及ぼしている大きな問題の一つが、労働意欲の低下だ。診断書なしで五日間まで病気休暇がとれ、子供の病気を看護するための有給休暇も、子供一人につき年間最大六十日間とれる。この病欠の分は国民健康保険がカバーするようになっていたため、お腹が痛いなどで簡単に会社を休む若者が増えているという。平均欠勤率は二〇％で、このうち八割が病欠。通訳は「欠勤率が五〇％近い事業所もあり深刻な社会問題」と話していた。また、このことは人件費の高騰を招き、物価にも影響している。他の視察国に比べ工芸品などの値段が飛び抜けて高かったことがそれを裏付けている。

現状の高齢者福祉に反省

スウェーデンの高福祉政策の極めつけは高齢者福祉政策である。この国では七十歳を超すとほとんどのお年寄りが、家族から離れ老人ホームや高齢者向けのアパートに引っ越す。部屋は2DK・風呂付きで、有料だがほとんどは市町

村が負担し、管理体制も十人のボケ老人の世話を十二人の職員がしているといった充実ぶり。

しかし老人ホームに勤める市職員は、「家族は親を入居させ安心感を持つ反面、心苦しさも持っているようです」と話し、「国は社会福祉の充実を目指すあまり、国民の生活に介入し過ぎたようだ」と、施設収容型の高齢者福祉政策への反省をほのめかしていた。

高福祉国家スウェーデンの社会福祉の実態について、短時間でしかも一部をかい間見ただけに過ぎないが、高福祉を支える高負担、労働意欲の低下、施設収容型福祉の在り方など、多岐にわたり考えさせられる部分が多かった。

人口の老齢化が進み、その対策が急務となっている本町にあって、高齢者福祉の在り方をこうした福祉先進国からもっと学びとれそうな気がする。

紙面の都合で報告の内容を限らせていただきましたが、今回の訪欧の様子はビデオカメラで四時間ほど撮影、これを六〇分のVHSビデオテープに、ナレーションを入れて編集しました。希望者には貸し出ししますので、役場・広報担当までご連絡ください。

47分に一人が交通事故死

昨年交通事故で亡くなった方は一万一千人で、負傷者は八十一万人余りでした。これは四十七分に一人が死亡し、三十九秒に一人がケガをしたこととなります。

今年は、昨年を上回る勢いで交通事故による死者が増加しています。交通事故を防ぐには、一人一人が交通ルールと交通マナーを正しく実践することが大切です。

年末年始の交通事故に注意!



年末年始は車の量、人の流れが多くなります。特にこの時期は気分的にも慌ただしくなり、先を急ぐあまりスピードを出し過ぎたり、忘年会などの飲酒の機会も多くなることから、速度超過、信号無視、飲酒運転などによる交通事故の多発が懸念されます。ドライバーの皆さん、くれぐれも交通事故にあわない、起こさないようにしましょう。

かたがら

高橋 忠広さん(22歳)
黒淵・(有)八塩製作所勤務



今春、東京からUターンし、今は黒淵にある(有)八塩製作所で、鍍金や溶接の仕事のかたわら、週に1〜2度、関東方面へ出来上がった製品を四ノ車で運ぶ仕事をしています。

高校時代から東京にあこがれ、卒業と同時に上京しましたが、理想とは違い現実には厳しさがあ

りました。しかし、短期間ではありましたが、いろんなことを学んで帰ってきたような気がします。郷里に帰って来てから九ヵ月余りがたちましたが、やっぱり生れ育ったところはいいなと思っています。

いつも自分ではいろいろな面で大きな事を夢見ているので、これから少しずつ自分にあつたことを見つけて、成功させたいと考えています。そのための基盤として、まず結婚して、平凡でも明るい家庭をつくり、自分で最高と思える生活を築きたいと思っています。

次は渡辺和弘さん(田代・22歳)にバトンタッチします。

そうじの便利な犬小屋

梅津美穂さん(大琴小六年)



わたしの家の犬は、暑がり、寒がりなことで、犬小屋をそうじするのが大変なので、この犬小屋を考えました。

まず、小屋の屋根を二重にし、中に断熱材をはりました。そして入口に巻き取り式のカーテンをつけ、寒いときに引き出せるように



きちびつこ ギヤラソー

発明工夫編

しました。

それから、小屋の側面の板は屋根の中に収納できるようにしました。寒いときには引き出し、暑いときには収納し格子のままにしておきます。この格子も屋根の中に収納できるので、小屋のそうじが楽にできます。

小屋の下の部分にはキャストをつけてあるので、蛇口のあるところまで小屋を運んで、水洗いができます。両側の板と格子を収納しておけば風通しもよく、洗ったあともすぐかわきます。

苦労したのは、屋根の中に板と格子を収納できるようにしたこと

保健婦の 快適タイム

口臭してませんか?

口臭は自分では気がつかないまま相手に不快感を与えるので、なかなか厄介なものです。原因は虫歯、歯槽膿漏、義歯垢、舌苔などで、それから発する臭いが混じりあつて呼気悪臭になることが多いようです。

口臭があると分かったら、まず歯科医へ行って口の中をよく調べてもらい、原因を取り除く処置、すなわち虫歯や歯槽膿漏の治療を受け、同時に歯垢清掃につとめます。

歯垢の付着度については、ときどき歯垢染め出し液で検査をしてもらうといいでしょう。

口臭を出さないためには、食後すぐ歯を磨くことが何より大切。さらに、自分で口の中を鏡で見ると、歯肉の炎症がないか、歯垢がついていないかなどを調べます。口臭は自分では分かりませんが、家族に頼んでチェックしてもらうとよいでしょう。

また、口臭は、胃腸や呼吸器の病気が原因で発することもありません。歯科医で異常がないといわれたら、一応、内臓の病気を疑ってみてください。

(保健婦・高橋鈴子)

東由利の文芸

文化祭協賛俳句会

- ◆八塩山まるごと映す水の秋
遠藤トミ子(小倉)
- ◆柿送る渋抜くこつ文添えて
鈴木要(沼)
- ◆木漏日や神木に絡む蔦紅葉
小笠原登美(蔵新田)
- ◆田屑焼く煙ひと筋末枯るる
高橋民治郎(舟打場)
- ◆峡の田に落穂を拾う山鴉
小野京子(須郷田)
- ◆山鳩のうるむ声して柚の秋
高橋繁太郎(横渡)
- ◆門限の越える敷居やちろ虫
加藤絹子(〃)
- ◆孫の守赤の帽子に赤トンボ
小松慶治郎(高戸屋)
- ◆供米終え夫は畜舎に牛みかく
鈴木徳蔵(舟木)
- ◆稲稔る亡母はすでに七回忌
佐藤正義(湯出野)
- ◆老集い田の神祭る山紅葉
菊地常作(〃)
- ◆百姓に生きて暮秋の灯を点す
阿部澄子(蔵)

せんせい登場



子供たちの歌声に幸せを感じて…

大琴小学校・太田由起子先生

大琴小学校にお世話になって二年目になりますが、今でも忘れられないのが新任式の時に聞いた校歌の歌声の素晴らしさです。

のびやかで明るい歌声が体育館一杯に響いて、全校児童数が百人余りしかないということのを忘れさせてしまうような元気な歌声でした。

小学校も高学年になると、声を出して歌うことを恥ずかしがる子が多くなりがちですが、地区の音楽祭の合唱では、男の子も女の子も素直な明るい歌声を響かせてくれました。

今担当している二年生の子供たちも歌が好きで、音楽の時間には「あれが歌いたい、これが歌いたい」とリクエストが次々に出されます。

元気一杯に歌う子供たちの笑顔を見たり、体育館に響く明るい歌声を聞くたびに、歌声そのままに素直で明るい子供たちと共に過ごせる幸せを感じています。

そして、この子供たちのよさをこれからも伸ばしてゆけるよう、教師として研鑽を積んでゆきたいと思えます。



季節の話題

大掃除は洗剤に注意！

十二月は大掃除の季節——家庭用洗剤などを使う機会が増えます。

家庭用洗剤（カビ取り剤や漂白剤（カビ取り剤や漂白剤に多い）と、酸性タイプの洗剤（トイレや浴室用の洗剤に多い）の二種類が主流です。このタイプの違う

二つの製品を混ぜて使うと有害な塩素ガスが発生し、たいへん危険です。

家庭用洗剤を使用するときは、必ず注意表示により種類を確認し、違う種類の洗剤は絶対に混ぜないでください。また、掃除中に洗剤が切れて、有り合わせの別の洗剤を使うときには、特に注意が必要です。

十二月は寒いので、つい換気をせずに掃除をしがちです。あらかじめ窓を開けたり換気扇を回したりするなどして、風通しをよくしてから使用してください。

ふるさとの昔ばなし

9

年とりだぐねえ男

語り・小松慶治郎さん（高戸屋）
文と絵・石渡力造



むかしむかし、口ぐせのように、「年とりだぐねえ、年とりだぐねえ…」と朝から晩まで言っている一人の男がおった。

「年とりだぐねえとわめいていけるけど、誰も年はとるもんだ」と村人たちに言われても、その男は耳に入れようとしなかった。

「そんなことを言ってもおらは年とりだぐねえ。大根穴（冬の間に大根を貯蔵しておく穴ぐら）に入っ

って男は大根穴にすっぽり入り、かくれておった。明日は正月を迎える年とりの日がきたのでおの。年とりの神さま年徳神は年を袋にたくさん詰めこんで、みんなに一つずつ歩いて歩いてきた。神さまは、あっちこつちとみんなに年をくれて歩いたが、それでも神さまの背負っている袋の中に

はまだたくさん残っておった。「ああ…年くばりもくたびれてしまった。袋の中を見るとまだこんなに残っている。あとはどこにやったらええがなあ…」

神さまは困ってしまったのでおのふと、道端の大根畑を見ると、ちようどよく大根穴があった。

神さまは、袋の中の残った年をドカドカと穴に投げてしまった。大根穴にかくれていた男の頭にたぐねえの年が落ちてきたので男はびっくりして大根穴からどしめて（急いで）出てきた。

なにしろ一度にたくさん年を頭からかむった男は、頭も真白になり、顔もしわくちゃになって、腰の曲ったよぼよぼおじいさんになってだけ。

とっぴんからりん山しよの実。

ふるさとを想おう

31

古里は私の心の安らぎ

川崎市高津区溝口一三三三
高木紘子さん（47歳・館西出身）

寒さ一段と厳しき折、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年八月に古里に帰郷し、その匂いを、体いっぱい漂わせながら筆を持っています。

母の故郷である玉米で、四歳のときに東京から疎開して以来十三



年間、我が古里と思い過ごしてまいりました懐かしい年月……

今は川崎に住み、田舎で過ごした年月よりもはるかに多い年数になりましたが、お盆の時期になりますと古里の感触が忘れられず、今では知人も少なくなっています。が、帰りたくなる不思議な魅力のとりこになっています。

昔であれば田舎に十時間以上もかけて帰ったものですが、今では高速道路という「ベルトコンベア」に一步乗ると、あつという間に目的地に着けるようになりました。

私のたった一つの心の安らぎ、古里の人情、山、川、草木……その匂いをむきばりに、これからも出来る限り帰郷したいと思っております。

古里の発展を祈念して…敬具

ツルリンドウ

(リンドウ科)

文・写真 小松忠正

70



山林の日陰に自生する多年草で、茎は細長く一メートル以上にもなり、他の植物にからみついてのびます。葉は先がとがった長卵形で、表面は濃緑色、裏面は紫色を帯び、三本の主脈があります。八月から十月ごろ葉腋に一〜数個の鐘状で

薄紫色の花をつけます。秋、きのこ探しなどで林にはいると写真のような鮮紅色のかわいい果実をつけたこの草に出会うことができます。薬効もあって秋に根をとって日干しにして煎服するとセキを鎮めるといわれています。

12月 (10/1~10/31)

町の三二統計

- 人口 () は前月比
- 男 2,836人 (一)
- 女 2,980人 (1)
- 計 5,816人 (1)
- 世帯数 1,419戸 (一)

() は1月からの累計

- 出生0人(32) ●死亡4人(51)
- 転入7人(58) ●転出4人(113)

- 火災出動……0件 (2)
- 救急出動……13件 (97)
- 交通事故……1件 (9)
 - 死者……0人 (0)
 - 傷者……1人 (16)
- 飲酒運転……0人 (2)
- 酒気帯び……0人 (3)

戸籍だより

(10/21~10/28)届出・敬称略

●お誕生おめでとう

〓小野 朝子(朝男・長女) 高屋タマ子

●ご結婚おめでとう

〓佐藤 博之(下通) 鈴木 直子(本莊市)

〓伊東 透(館西) 佐々木ユミ子(羽後町)

〓畠山 鋼(蔵) 武田 真理(須郷)

〓阿部宇左門(野田) 阿部美紀子(蔵新田)

●ごめい福をお祈りいたします

〓小松オツヨ(93・富七・養母)新町

〓伊東 萬吉(66・タマ・夫)高村

〓石綿キヨシ(93・徳市郎・母)東光苑

〓遠藤 尚子(4・博秀・長女)蔵

12町民カレンダー

- 3・特設人権相談所開設(朋楽荘・10時~3時)
- 栄養改善学級(老方館・10時~)

人権週間

12/4~12/10

- 7・2歳児健診(有鄰館・13時~)
- 10・乳児健康相談()
- 11・ことぶき大学(朋楽荘・10時~)
- 家庭バレーボール交流大会(健康増進センター・2月22日まで)

年末の交通安全県民総ぐるみ運動 12/11~12/22

- 18・12月定例議会(予定)

8、22日の土曜日は役場が休みです

マイ スケッチ

八塩小学校の収穫祭

小松 昇さん(田代)



学校田でとれた米で行う「収穫祭」。今年も全校の児童が参加して11月21日に行いました。キネに振りまわされたり、ウスをついたり、面白い一コマも…。

▼市町村職員欧州視察研修に参加したドイツのハンブルグには日本料理店が十一店ある。帰国前にその中の一店で夕食をとった。刺身、天ぷら、茶碗むし、納豆……メニューは多く味もおいしい。しかしご飯はカリフォルニア産で、まずかった。イギリスでもホテルの朝食でご飯を食べたが、かなりまずい。米自由化の危機感

編集室から

が和らいだのは私だけではないと思う。イギリスの五万人をはじめ欧州で暮らす日本人は多い。もしかすれば日本の米を待ち望んでいるかも知れない▼スウェーデンではログハウスの別荘が人気を呼んでいる。週末には家族がくつろぐという。木材の産地で土地価格の安いわが町：何かアイディアが出てきそうな気がしてきた。

善意

町社会福祉協議会に佐藤盛一さん(中通)小松富七さん(新町)石綿徳一郎さん(大台)からそれぞれ金一封が届けられました。ありがとうございます。

町民の声を町政に！
町長の面会日・今月は20日